

愛媛県 武道館 だより

第19号

平成22年12月
愛媛県武道館発行
〒790-0948

松山市市坪西町551
(☎089-965-3111)

<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

柔道舞踊

平成22年8月21日(土)に開催しました「武道体験フェスタ」において、全国的にも珍しい「柔道舞踊」の写真の展示と8mmフィルムに残っていた記録映像（DVDにダビング）を披露しました。

これは、約40年前に愛媛県高等学校体育連盟より「柔道の歌」を舞踊化して欲しいとの依頼を受け、石村民子先生（当時 伊予農業高等学校教諭）が「モダンダンス」に柔道の「形」を組み込んで振りつけ創作し、昭和46年（1971年）に旧愛媛県武道館（松山市道後姫塚）で行われた全国高等学校総合体育大会柔道競技の開会式において、伊予農業高等学校ダンス部の24名の女子生徒が演じる模様を録画したものであります。

当時の新聞記事によりますと、石村先生は、「柔道舞踊は、柔道精神を抽象化。受身、技をアレンジした」と述べており、また、舞踊化された「柔道の歌」は、全国でたった1枚しか残っていなかった貴重なレコードに収められていた曲であると報道されております。

フェスタ当日には石村先生も来館され、来館者とともに貴重な映像を食い入るように鑑賞されていました。

石村先生に提供いただいた、この貴重な資料は、今後もいろいろな事業で活用していきたいと思っております。

愛媛県武道館



石村先生(中央)と柔道舞踊を演じた
伊予農高等学校ダンス部のみなさん



弓と共に

愛媛県弓道連盟 泉 寿美子 錬士六段

襷、袴を身につけて、颯爽として凛とした姿にあこがれ、弓道教室を受講して20年近くになります。

初段合格の折、先輩より「これからは本当の弓道の入口ですよ」と言われ、一段と身が引き締まったことが思い出されます。

弓を引く動作は簡単そうに見えます。しかし、射法八節（足踏み、胴造り、弓構え、打起し、引分け、会、離れ、残心）の一つ一つの動作が大変難しいものなのです。

また、武道ですので、隙のない体調もできていなければなりません。

正射必中という言葉があるように、身体の安定、心気の安定、弓技の安定が合一して一体になって初めて中たるのであり、常に自分を「反省」しながら、心と技を磨きながら、自分を鍛える道が弓道だといわれています。

私事ですが、今までに実生活において、いろいろ悩みもありましたが、いつも前向きな気持ちになれたのは、弓道をしていただいたお蔭だと思っています。

それは、弓道とは人に良く見せようとしたり、競ったりするものではなく、いろいろな迷いや恐れ等、自分自身に打ち勝つ精神力を養うものなのだからです。

武道館行事においては、鏡開きなどで何度か演武をさせていただいたり、武道体験フェスタでは、参加者の皆さんに弓道を身近に思ってくれることを願いながら、お手伝いさせていただいたこと等、いろいろな体験が楽しく思い出されます。



これからは、良き指導者、良き環境にめぐまれ、ここまでやってこられたことに感謝しながら、後輩達の良き模範となれるよう精進してまいります。

また、健康維持に留意し、弓道で学んだことを人生に生かしながら、自分にきびしく、そしてたまには自分をほめながら、挑戦する気持ちを持ち続け、弓と共にこの先もずっとずっと歩んでいきたいと思っています。

平成29年度国民体育大会へ向けて

愛媛県剣道連盟 事業部長 菅 幹博

愛媛県剣道連盟では、来たる国民体育大会に向けて3年前より強化委員会を中心としての取り組みを始めました。

(1) ジュニア強化指定選手の決定と強化

国体ジュニア強化指定選手の決定とその強化です。小学生では、1月に行われる小学5年生、6年生男女を対象とした「愛媛県少年剣道選手権大会」の結果により、学年ごとの強化指定選手を決定し、強化をしてきました。また、中学生も同大会並びに愛媛県中学校総合体育大会の結果を参考として、選手を決定し強化をしてきました。一昨年度からは、この強化指定選手の枠に各地区の推薦選手も合わせ、県内各地区から選手を選びました。小学校、中学校とも強化委員と監督を決定し、選手による練習試合や強化練習を重ねてきました。昨年度は、この強化選手の中から予選によって5名の選手を選手し、「全国都道府県対抗剣道優勝大会（大阪府での開催）」に参加しました。結果は小学生が3位に入賞し、早くもその成果を出すことができました。中学生も健闘しましたが予選で敗退しました。しかしながら、強化指定選手の選考と強化により、全国の選抜選手と互角に戦えることが証明されたと思います。

本年度より、指定選手による県内外の試合の参加という新しい試みも始めました。これは、先に述べた強化指定選手の選考より選出された5名の選手が、地元愛媛県や近県で行われる大会に参加するというものです。5月に新居浜市で開催された、関西・九州地区が参加する「三浦杯少年剣道錬成大会」では小学生が第3位、中学生が準優勝という結果を残しました。今後も選抜チームを編成し、県内外の大きな大会へ参加の予定であり、技術力の向上とともに県内小・中学生の競技力向上に向けて指導を怠らないようにしたいと考えています。

(2) 地域におけるジュニア育成

現在、愛媛県剣道連盟では年間に1度、県内の実力者を講師とし、ジュニア育成のための講習会と試合錬成、高校生のための審判講習会を合同で開催し、剣道の普及に努めています。昨年度より、ジュニア育成部門を東・中・南予の各地区剣道連盟主催の錬成大会として開催するようにしました。たとえば中予地区では、中予管内を4つの地区(地域剣道連盟)に分け(松山地区・伊予郡市地区・東温地区・上浮穴地区)開催をしました。地区強化委員は、その都度参集し、当日の運営について打ち合わせを行い、錬成会を進めます。また、各地区とも試合錬成だけでなく、その地区の剣道有段者による全体指導を行い、剣道の基礎的概念を高めるようにしています。小学

校は低学年、高学年、中学校は男女に分かれ、昼食をはさんでの錬成試合を繰り返します。最後には地区の指導者が総出で元立ちとなり、児童・生徒とともに稽古をし終わります。この事業を通じて、技術力、競技力の向上はもとより、指導者同士の情報交換や、高段者による技術講習、生徒・児童同士の情報交換、そして何より仲間作りの場となっています。また、保護者同士も顔見知りとなり、情報交換や悩み相談ができるなど剣道会全体の意識向上の場ともなっています。このような錬成会の回数を重ねることにより、先にも述べた競技力・技術力の向上を図っています。

(3) 地域における審判講習会の実施

剣道の普及並びに技術力の向上に、審判能力の向上は欠かせないものです。「一本」がその児童や生徒の今後の剣道人生を左右することもあります。また、誤審等により剣道をやめていく要因にもなりかねません。毎年、審判能力の向上と公認審判員制度の定着を目指し、公認審判員認定審査会並びに講習会を愛媛県剣道連盟主催のもと、県内3つの地区で開催してきました。本年度より、それを各地区における講習会としました。どの地区も公認審判員認定委員の派遣を受け、より多くの剣道指導者に審判講習をしていただき、審判技能の向上を図るとともに、段位の低い先生の技術力向上と人材の発掘、また、底辺の拡大に力を注ぐようにしています。県内には16団体の剣道連盟がありますが、その参加には100以上の剣道会や中学校指導部などの団体が存在しています。愛媛県剣道連盟主催の講習会の際には、講習会といえども、なかなか足の向かなかった各地区剣道会の先生方も、地域の顔見知りの先生方が参加する講習会であれば、「参加をしてみよう。」と、意識を変えることもできますし、地域の高段者の先生が誘うこともできます。それによって、現在までその地区でしか教えない先生方の情報交換や新しい知識・理解を増やす機会となります。審判技能の向上は、児童・生徒の試合にすぐに反映され、正しい剣道、力強い剣道が勝てるようになってきます。自ずと生徒はそれを目指し、ひいてはそれが技術力の向上につながります。

愛媛県剣道連盟では、来たる国民体育大会にぜひとも全種別優勝をしたいと考えております。そのためにも、新しい手法を加えながら全体の競技力の向上を図りたいと考えています。また、それに乘じて近年減少傾向にある剣道人口の増加にも付与したいと考えております。今後とも愛媛県剣道連盟の諸行事に対しましてご理解、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

JUDOフェスタの開催について

財団法人 愛媛県柔道協会 理事長 河野賢嗣

財団法人 全日本柔道連盟が主催する平成22年度ジュニアブロック（中国・四国地区）合宿が、10月21日（休）～24日（日）まで行われ、最終日の24日（日）の午後からJUDOフェスタが、愛媛県武道館柔道場で開催されました。

今年は、財団法人 全日本柔道連盟強化コーチ及び本県出身の棟田康幸選手（2007年世界選手権金メダル）と浅見八瑠奈選手（2010世界選手権金メダル）や、杉本美香選手（2010世界選手権78kg級、無差別級金メダル）、西山大希選手（2010世界選手権銀メダル）中井貴裕選手（2010世界選手権代表）が派遣されました。

このフェスタは、財団法人 全日本柔道連盟が各都道府県柔道連盟（協会）と協力し、各地域柔道の普及発展と活性化を図ることを目的とし、主に小学生を対象に家庭・学校・地域等において、柔道に対する理解を深め、相互連携を図って行き、次世代の選手強化を目的としています。

当日は、県内各地を始め、香川県や山口県から約500名の幼児及び小・中学生が参加し、2時間という短い時間でしたが、全日本強化選手と触れ合うことができ、子供たちにとって有意義な体験となったことと思います。

特に、強化選手による得意技の解説では、日本を代表する選手の素晴らしい技を目の当たりにすることができたことは、今後の柔道修行の糧となるのではないかと、思います。さらに、乱取り稽古では、先を争って強化選手に胸を借り、活気ある稽古内容となりました。

また、選手と参加者の触れ合いタイムでは、子供たちやお母さん方から活発な質問があり、選手のユーモアある回答に大満足し、最後に行われた景品の抽選会では、当選番号が発表されるたびに子供たちは一喜一憂し、会場内は和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことができました。



閉会式終了後、柔道ルネッサンス活動の一環として、参加した子供たちと会場のゴミ集めを行い、JUDOフェスタを終了することができました。

今後も、JUDOフェスタの開催は続けられるとは思いますが、柔道の底辺拡大につながる行事であり、柔道を経験していない子供たちにも、参加してもらえるように、我々地元関係者も広報活動に努めていきたいと思いをします。

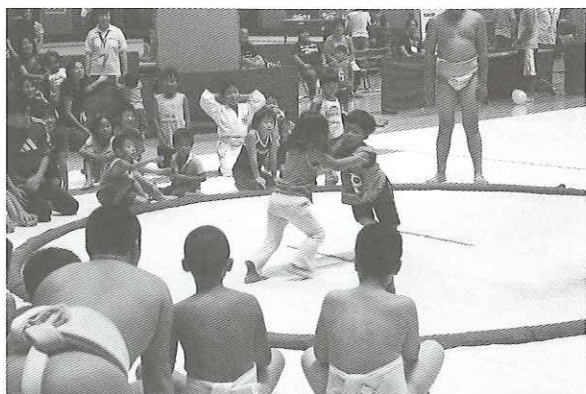
事業報告

○武道体験フェスタを開催

多くの方に武道にふれる機会をつくり、武道に対する理解と関心を深めるとともに、武道競技者の底辺拡大を目的として、愛媛県スポーツ振興事業団と県内9つの武道団体（柔道協会、相撲連盟、剣道連盟、弓道連盟、銃剣道連盟、なぎなた連盟、空手道連盟、少林寺拳法連盟、合気道連盟）の主催により、「武道体験フェスタ」を愛媛県武道館主道場において8月21日(土)に開催しました。このフェスタは、開館以来毎年開催しております。

午前の部は空手道・なぎなた・銃剣道・柔道の4種目、午後の部は相撲・剣道・少林寺拳法・弓道・合気道の5種目の体験が行われました。体験すればスタンプをもらえるスタンプラリー方式を採用し、皆さんにより多くの武道を体験していただきました。

武道にちなんだ〇×式の「武道体験クイズ」を実施し、大型映像装置に映し出される問題や解答に一喜一憂し、武道に関する知識を学んでいただき、有意義な一日になりました。



今後の事業のお知らせ

愛媛県武道館では、次の事業を随時行います。皆様ふるってのご参加・ご来館をお待ちしております。

○各種講座（無料）

柔道場にて、愛媛県スポーツ振興事業団主催で、次の講座を開催します。各定員は20名程度です。（参加申込書兼誓約書はホームページでもダウンロードできます。）

「運動神経がUPする体操講座」

日 時：平成22年12月11日(土)

主対象：幼稚園児程度 9：30～10：20

小学生低学年程度 10：30～11：20

「女性・高齢者のための優しい護身術講座」

日 時：平成22年12月18日(土)

10：00～11：00

対 象：高校生以上の女性

○平成23年鏡開き式（無料）

新春恒例の「鏡開き式」を愛媛県スポーツ振興事業団と県内9つの武道団体（柔道協会、相撲連盟、剣道連盟、弓道連盟、銃剣道連盟、なぎなた連盟、空手道連盟、少林寺拳法連盟、合気道連盟）の主催により、平成23年1月9日(日)に主道場で開催いたします。



第1部の式典で、愛媛県空手道連盟が代表で鏡開きを行います。

第2部の「演武」では、各団体の高段者が、武道の真髄である「形」を披露し、日頃の鍛錬の成果を発表します。

第1部	9：00～9：30	式・典
	9：25頃	鏡開き
第2部	9：30～11：00	演武
第3部	11：30～12：30	けいこはじめ

また、第2部と第3部の間にはお楽しみイベント（景品付き餅まき）もございます。

○各種大会（有料）

主道場にて、愛媛県スポーツ振興事業団主催で、次の大会を開催予定しています。

「レクリエーションバレーボール大会」

日 時：平成23年2月18日(金)午前

対 象：女性のチーム

「バドミントン・卓球大会」

日 時：平成23年3月11日(金)

対 象：一般

トレーニングルームスタッフのつぶやき

健康・体力向上のために、お互いに何か1つのことを継続していきましょう！私は「日々のランニング」続けています。(S)